

令和3年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立仲六郷小学校



1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成 果

- ・ 物語を読み、感じたことや考えたことを共有するための話し合いの時間を設けたことで、登場人物の心情や文章の要点を読み取る力が付いた。

(2) 課 題

- ・ 作文や日記など、文章を書く機会を多く設ける必要がある。
- ・ 漢字ドリルや小テストを繰り返し行い、漢字を確実に定着させる必要がある。
- ・ 分からない漢字や言葉は、辞書を引いて調べる習慣を身に付けさせる必要がある。



2 大田区学習効果測定の結果について

(1) 達成率（同一集団の経年変化）

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
第4学年	・ 目標値を大きく下回る「文章を書く」が課題である。		
第5学年	・ 目標値をやや下回る「漢字の読み」「文章を書く」を課題としている。	・ 目標値をわずかに下回る。「漢字の書き」「文章を書く」を課題としている。	
第6学年	・ 目標値をわずかに下回るが、「漢字を読む」「漢字を書く」に課題がある。	・ 目標値をわずかに上回るが、「漢字を読む」「漢字を書く」に課題がある。	・ 目標値をわずかに上回るが、「言葉の学習」に課題がある。

(2) 令和3年度の結果分析（観点別）

・ 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 「漢字の読み書き」「ローマ字」を苦手としている。	・ 「文章を書く」について課題がある。特に段落の役割を理解し、2段落構成で書くことが難しい。	・ 「文章を書く」分野で落ちている。

・ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 「漢字の読み書き」「言葉の学習」「指定された長さでの文章作成」を苦手とする。 ・ 「漢字の読み書き」「言葉の学習」を苦手とする。	・ 「文章を読み感想を書く」「事例を挙げて話す」について課題がある。 ・ 「物語の内容の読み取り」「活動報告を書きなおす」に課題がある。	・ 「内容の聞き取り」「文章の書き取り」に課題がある。

3 授業改善のポイント

・低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「話すこと」に慣れさせるために、朝の会や授業で発表の場面を多く設ける。声の大きさを意識できるよう働きかける。 - 新出漢字の学習は、「とめ」「はね」「はらい」及び書き順を丁寧に指導し、文字の形に気を付けて練習させる。 - 音読カードを使って、読みに上達ポイントを押さえながら練習させる。 - 新出漢字は毎日一字ずつ学習し、家庭学習でも習った漢字の練習を行う。 - 朝の会で日常的にスピーチ活動を行い、話し方、聞き方を身に付けられるようにする。話すポイントを明確にし、話型を示し話しやすくする。聞き手は、スピーチをしっかりとして聞いて、質問や感想を行う。	- 場面の様子に気付いたり、想像を広げたりして読む力を付けるために、動作化、劇化などの表現活動の場を設定する。 - 書いたことを読み合ったり、よいところを見つけて感想を伝え合ったりする活動を取り入れる。 - 文章の内容と自分の経験や考えと結びつけて考え、発表し合うことができるようにする。 - 大事なことを落とさないで聞くことができるようにするために、クイズなどを取り入れ、活動を工夫する。 「今週のニュース」として出来事や心に残ったことの記録を書くことで、書くことへの親しみにつながっていくようにする。「いつ」「どこで」「誰が」「どうした」などの文章構成を意識させる。	- 進んで活動ができるように、児童が興味・関心をもてる題材を選ぶ。 - 音読カード、ひらがな・カタカナ・漢字練習などの家庭学習に、継続的に取り組ませる。 - 毎週金曜日の朝読書や、図書の時間に読み聞かせを行う。読み聞かせした本を教室の本棚に置いて読書に親しませる。読書カードを活用し、読書への意欲を高める。 - 音読カード使って、毎日の家庭学習でも音読を継続させていく。 - 物語文では、積極的に動作化を取り入れ登場人物の気持ちや場面の様子を読み取る。

・中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「はじめ、中、終わり」の文章の構成を意識し、段落を適切に区切って書く習慣を身に付けさせる。 - ドリルや小テストを繰り返し行い、漢字やローマ字の定着を図る。	文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方の違いについて気付かせるために、話し合い活動の時間を設ける。	- 辞書を活用して語彙を増やしたり、季節の言葉を集めたりする。 - 音読カード、漢字練習などの家庭学習を継続的に実施する。

・高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 分からない言葉を調べる習慣をつけさせ、語彙力を増やす。 - 漢字ドリルや小テストを繰り返し行い、定着を図る。	説明文の単元では、学習課程を工夫して、筆者の工夫など読み取ったことを生かして、意図的に書く活動を取り入れていく。	毎日音読の宿題を出して、漢字の読みや語彙を高めていく。音読は新聞記事などいろいろな活字・文章にふれさせるようにする。